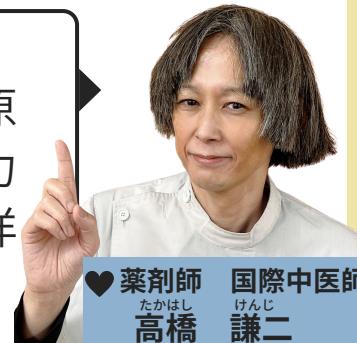


かん 『肝』の眞の役割



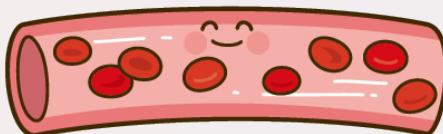
中医学とは？

中国で研究開発された医学であり、日本の漢方医学の原典ともいえる医学です。人間の体が作り出す自然治癒力を高め、病気が目に見える前に治療を開始するなど西洋医学には無い特徴を持つ学問です。

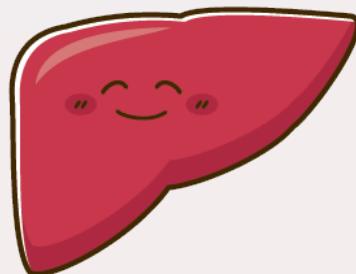
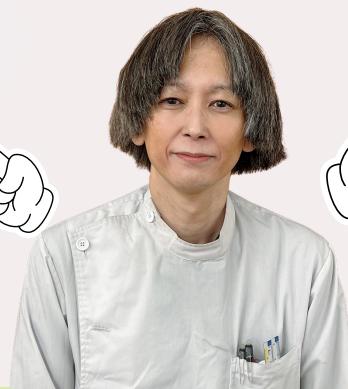


♥薬剤師 国際中医師
たかはし けんじ
高橋 謙二

今回は肝臓のお話となります。中医学の教科書に肝臓は、「疏泄を管理する」と記載されていますが、この「疏泄」とは「血液の流れ」という意味です。「血液の流れ」そのものを作り出すのは心臓の力ですが、なぜ肝臓が「血液の流れ」を管理するのでしょうか？



以下の肝臓の作り出す
タンパク質に注目！



プラスミノゲン

血栓が発生した時に溶解機能を発揮するためのタンパク質

フィブリノゲン

血管が破れた時に止血機能を発揮するためのタンパク質

体内で血栓の溶解や止血に関わる物質は他にもありますが、肝臓が作り出すこの2つのタンパク質は特に重要な物質となります。肝臓の働きで血液は漏れず固まらず流れる事が出来るのですね！

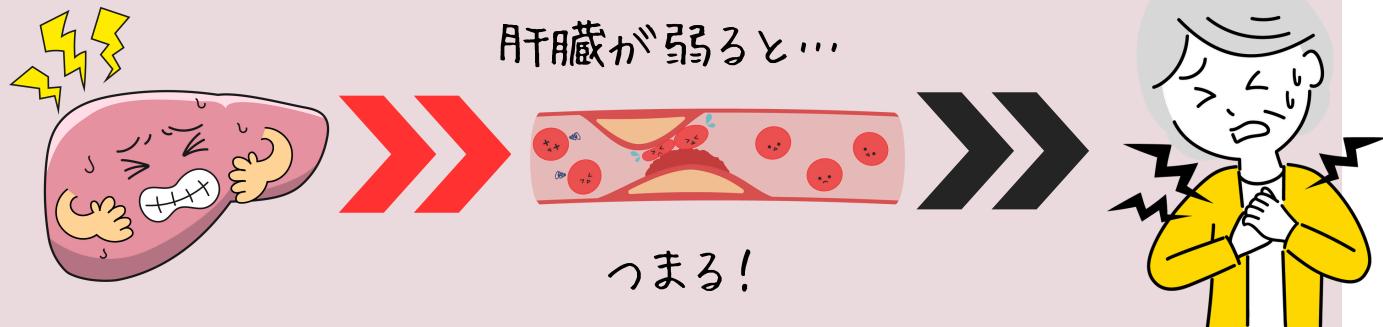




中医学ではこう考える



肝臓の働きが弱ると、血液が思わぬ所で固まったり漏れたりするので、脳卒中や心筋梗塞などの大病を防ぐ場合には肝臓のケアを忘れないようにします。



肝臓の働きを高める生薬



①熟成ニンニク抽出液

体を温め血管を拡張させて肝臓内部の血流を高める事で、肝臓がしっかりと仕事が出来る環境づくりに大きく貢献します。また、連用により肝臓内部の血管のゴースト化を防ぎ肝臓機能を低下させないように働きかけます



②牛黄

胆汁分泌を促し肝臓内部の血流を高め、肝臓が働きやすい環境を整える。肝臓に対して極めて重要な役割を果たす生薬です。

肝臓は解毒するだけの臓器としか認識していませんでしたか？実は上記で記載したように、血液が「漏れず固まらず流れる事」を支える為の臓器でもあります。この事を忘れずに常に肝臓のケアを心掛けたいものですね。ちなみに私は上記2種類の生薬の他にもう一種類「田七」という肝臓のケアの生薬も併用していますよ！

